

ミクロネシア情勢（2016 年 1 月）

在ミクロネシア大使館

1 内政

ポンペイ州議会議員の合同就任宣誓式

11 日, Feranndo Scaliem 議員が州議会議長, Nixon Soram 議員が州議会副議長, McGarry Miguel 議員が院内総務にそれぞれ指名され, 州議会各委員会の陣容も発表される形で合同就任宣誓式が執り行われた。

コロニア自治区長の就任宣誓式

11 日, Jose San Nicolas 氏がコロニア自治区長 (Chief Magistrate of Kolonia Town) として就任宣誓した。同自治区議会は Jack Harris 議員を議長, Yuko Nakasone 議員を副議長, Pericles Perman 議員を院内総務にそれぞれ指名した。

ピンゲラップ自治区長の就任宣誓式

12 日, Makir Max Keller 氏が Pingelap 自治区長として就任宣誓した。クリスチャン大統領が 8 名の同自治区議会議員と共に参列した。

ソケース自治区長の就任宣誓式

13 日, Michael Liemen 州が Sokehs 自治区長として就任宣誓した。日本, 米国, 中国及び豪州大使館関係者, 連邦議会議員及びポンペイ州の他地域自治体政府関係者も同就任宣誓式に参加した。

2014 年ミクロネシア連邦法令集のインターネットでの閲覧が可能に

ミクロネシア連邦最高裁判所サイトに 2014 年ミクロネシア連邦法令集がアップロードされ広く一般からの閲覧が可能となった。

ヤップ州の干ばつ懸念

エルニーニョ現象が東部及び中部太平洋地域で強まっているとの観測があり, 2016 年初頭にヤップ州は干ばつ警報を発令している。

コンピューター気象分析結果では, Fais, Ngulu, Uilithi, Satawal, Faraulep 及び Wsoleai 各離島での降雨が激減するとされている。

クリスチャン大統領, ポンペイ州離島地域, Mwoakilloa と Pingelap を訪問

12日～15日、クリスチャン大統領は就任後より実施している国内視察の一環としてポンペイ州離島の Mwoakilloa と Pingelap を両地域を選挙区とする州議会関係者と共に訪問し、訪問地の市議会議員就任式に立ち会ったほか、コミュニティーとの意見交換会と公共施設の視察も行った。

クリスチャン大統領は、「離島の小型航空機離発着施設については修繕工事が必要であるのだが、まずは、ポンペイ州政府及び州議会側に相談することが第一歩である」と島民に述べた。

すでに、クリスチャン大統領は就任後に4州を離島も含め訪問しているが、今後も多くの離島の視察に意欲的に取り組む姿勢を見せている。

19 期連邦議会第3回定例会期が開会される

26日、シミナ連邦議会議長は大統領との意見交換を目的とした連邦議員チームを初日に指名し、同連邦議員チームの報告は以下のとおり。

－本年のポンペイ州での太平洋諸島フォーラム（PIF）開催について開催経費やミクロネシア連邦全体への経済裨益効果等について議論が進展している。

－漁業分野での歳入が過去最高を記録するとの見込みであるも、米国が太平洋地域での漁業協定から脱退したことから、最終的な数字は未確定である。

－先般の中国政府訪問団との間で、ミクロネシア連邦の優先課題リストに則った支援のあり方について議論があった（本件についての詳述は報告上で言及なし）。

－開発プロジェクトの司令塔であった公共事業ユニット（PMU）は解体されたが大統領府に直属する形で継続機能していて、各州の担当部署の開発プロジェクトの作業進捗について常にフォローアップしている。

－今会期の連邦議会において、国境確定に係わる国際合意及び連邦政府高官の人事案について承認されるようクリスチャン大統領の要請があった。

2 外交

新豪州大使の指名

昨年12月、豪州政府は George Fraser 氏を在ミクロネシア連邦豪州大使に指名したことを発表した。同氏は豪州外貿省のキャリア外交官で、在キリバス高等弁務官、在ウェリントン総領事、在ナウル高等弁務官、在台北事務所領事部長、在バリ領事事務所長、在ベトナム大使館次席館員等を歴任してきており、豪州外貿省で旅券事務の総括ポストに就いていた。

在中国 FSM 大使館が昨年のミクロネシア連邦・中国交流を述べる

2年半の勤務を終えて Mr. Jackson T. Soram 在中国 FSM 大使館次席が帰任する

に当たり、アピス大使は12月31日に同次席離任レセプションを開催する中で、2015年の中国との交流の実績を述べた。

2015年の両国ハイレベル人物交流として、中国要人のミクロネシア連邦訪問は以下のとおり。

－6月：Ma Hui 共産党執行部分国際部局長の訪問

－7月：Wang Hong 国家主席特使（クリスチャン大統領就任式参加）の訪問

－8月：Do Qiwen 中国太平洋島嶼地域対話フォーラム担当大使の訪問

また、ミクロネシア連邦要人の訪中は以下のとおり。

－8月：Fernando Scaliem ポンペイ州議会議長一行

－10月：Innocente I. Oneisom チューク州議会議長，James Yangetmai ヤップ州副知事及び Jack Harris コロニア町議会議長，並びに Tulensa palik コスラエ州議会議長

－10月：Tony Gannginyan ヤップ州知事

－11月：シミナ連邦議会議長一行（Berney Martin 副議長，Joseph J. Urusemal 連邦議員，Tiwiter Aritos 連邦議員，Paliknoa K. Welly 連邦議員）

更に、中国の対ミクロネシア連邦開発協力支援については、コスラエ州 Okat 橋梁建設プロジェクト（進行中）に続き、チューク州庁舎建設プロジェクト、Y-12 小型機供与プロジェクトが準備中であるほか、2015年には6,000万円の無償・技術協力事業、2016年ポンペイ州での太平洋諸島フォーラム（PIF）開催準備として高級車15台の供与、Maysak 台風被害支援（50万米ドル）及び18名の国費留学生受け入れ事業と盛り沢山の支援実績を誇るに至った。

なお、2015年の中国からの支援規模は年間ベースで過去最高額に上ったとされ、ミクロネシア連邦の国家建設に大きな貢献となったと強調されている。

2016年の対中外交の力点としてクリスチャン大統領は、ミクロネシア連邦への投資と観光客の誘致をあげている中、Soram 次席が本国外務省に異動となることは、一層の中国との関係強化には時宜を得たものであり、本年1月にもポンペイ州で開催予定とされる「ミクロネシア連邦・中国経済貿易委員会」の立ち上げ準備作業への支援材料となるとアピス大使は強調した。（8日付け報道）

ジョージ副大統領が北マリアナ諸島連邦知事の葬儀に参列

11日、米国シアトルで客死した北マリアナ諸島連邦の知事の葬儀に参列した。

ジョン・フリッツ在京大使がクリスチャン大統領の前で就任宣誓

15日、一時帰国中のフリッツ大使が、大統領府においてクリスチャン大統領、ジョージ副大統領、ロバート外相及びガレン司法長官及び麻生在福岡名誉総領

事が列席する中、大使就任宣誓式に臨んだ。

フリッツ大使は 2008 年以降在京大使として活躍している。

中国旧正月と十二支

18 日付けカセレリエ・プレス紙（全 16 頁）において、本年の旧正月は 2 月に祝われ、本年の干支猿年について中国旧暦と十二支の経緯とともに解説する記事が 2 頁にわたって掲載された。

Li 中国大使がミクロネシア短期大学（COM）コスラエ州キャンパス訪問

20 日、Li 大使側 COM コスラエ州キャンパスを訪問、中国政府の留学奨学制度について説明し、奨学金でカバーされる学費や生活費についての生徒から質問に答え中国への留学を大いに奨励した。

同留学奨学制度の説明において、中国留学経験のある 2 女学生が留学中の経験を会場内で説明した。

新豪州大使が信任状をクリスチャン大統領に捧呈

25 日、Fraser 豪州大使はクリスチャン大統領に信任状を捧呈し、26 日に豪州ナショナルデーのレセプションを大使公邸で主催した。

3 経 済

北太平洋地域に新たな航空サービスの追加

1 月 1 日付けでナウル航空は、ホニアラ経由の同航空会社の北上フライト・スケジュール（毎週金曜運航）がナウル・タラワ・マジェロー・コスラエ・ポンペイ・チュークの運航ルートを、また、チュークを起点とする復路ルート（毎週日曜日運航）をカバーすることとなったと発表した。

これにより、ソロモン航空との協力により、ソロモン・ナウル・キリバス・マーシャル・ミクロネシアの航空ルートの連結が実現されることとなった。

ナウル航空及びソロモン航空関係者は、連結された地域・国間でビジネス及び旅行の便益が増大されることへの期待が述べられた。

中国の延縄漁業船の対ミクロネシア投資誘致セミナー

Edward 国家海洋資源管理局（NORMA）評議会議長及びパンゲリナン NORMA 局長が訪中し、ミクロネシア海域での中国延縄漁船の操業を呼びかけるセミナーを北京で開催した。

NORMA 関係者は「中国はミクロネシア連邦にとって主要漁業事業パートナーであり、中国がミクロネシア連邦内の漁業施設の改善事業に投資してくれること

を期待している」と述べ、中国漁業関連企業の投資に期待を示した。

NORMA 一行は、中国農業部の水産局、China Overseas Fisheries Association (COFA) 関係者とも意見を交換した。(15 日付け報道)

郵便配達料金の値上げ

17 日付けで郵便料金の値上げが施行される。自由連合協定 (Compact) により米国郵便料金の値上げがミクロネシア連邦の郵便料金の値上げにつながったものとミクロネシア連邦郵便当局が説明した他、ミクロネシア連邦の郵便の取扱いは Asia Pacific Airlines (APA) が請け負っており、APA による郵便サービスはユナイテッド航空の貨物運送キャパシティに強く影響されているが、年末年始等の季節的な郵便取扱量の急増にも対応していきたいと強調した。

4 経済協力

第 9 回ミクロネシア連邦 JICA 研修同総会 (JAA-FSM) の開催

11 月 5 日、2006 年にポンペイ州で設立された「ミクロネシア連邦 JICA 研修同総会」の第 9 回ミクロネシア連邦全国大会が、はじめてポンペイ州以外の土地であるヤップ州で開催された。

同大会では、ミクロネシア連邦と日本の友好関係の強化、JICA 支所、海外ボランティア隊員とミクロネシア連邦との絆の増進のためにも各州単位で研修同総会が活発に活動することの重要性等について議論された。

フィラリア疾病撲滅、JICA が保健社会局へ検査キット等を供与

保健医療分野を重視する我が国開発協力施策方針に基づき、JICA 支所は当国保健社会サービス当局に種々の支援を 2001 年以来継続して行ってきたが、昨年 12 月 11 日、太平洋島嶼地域フィラリア疾病撲滅プログラムの支援の一環として検査キット 80 セット分 (1 セットで 4, 000 人の検査可能) をミクロネシア連邦政府保健社会省側に供与した。

太平洋地域「廃棄物管理改善支援プロジェクト」(J-PRISM) の最終合同会議の開催

昨年 12 月 17 日、2011 年から環境危機管理局 (OEEM) をカウンターパートとしてミクロネシア連邦政府及び 4 州政府と共に JICA 支所が手がけてきた固形廃棄物管理キャパシティ向上を目的とした太平洋地域「廃棄物管理改善支援プロジェクト」(J-PRISM) にかかる最終合同会議がパリキールで開催された。

会議では乾電池、ペットボトル、ガラスコップ等の廃棄物の再利用に係わるコスラエ州の事例等を取り上げ、家庭世帯レベルでの分別、廃棄物管理に係わ

る情報収集の強化等が議論された。

中国大使館、ポンペイ州立病院に13万ドル相当の医療機材供与

昨年12月21日、Lie 中国臨時代理大使とロバート外相は、中国政府によるポンペイ州立病院への医療機材供与に関する文書への署名式に臨んだ。

Lie 臨時代理大使は、挨拶の中で「中国政府は、医療チーム派遣や技術支援を通じ、疾病対応能力向上支援を太平洋島嶼、アジア、アフリカ及び中南米地域の途上国に対して行ってきた」と述べたほか、ミクロネシア連邦との外交関係樹立後に実施してきた11件の建造物（中国ミクロネシア連邦友好スポーツ施設、チューク州及びヤップ州への貨客船、コスラエ州内高校校舎、ポンペイ州政府庁舎、中西部太平洋マグロ類委員会（WCPFC）事務所庁舎、正副大統領を含む連邦政府要人公邸など）設置にかかる中国政府の支援プロジェクト、並びに、技術支援（卓球コーチ派遣、競技電子スコアボードの管理技士派遣、農業技術チーム派遣）、留学・研修プログラム及び文化チーム派遣に言及し中国政府の対ミクロネシア連邦支援の実績を強調した。

ポンペイ州のナンペイ・メモリアル高等学校の新校舎と図書館建設

昨年12月22日、自由連合協定（Compact）によるインフラ整備支援費目の支弁によるポンペイ州キチ地区内のナンペイ・メモリアル高等学校の2階建て校舎及び図書館の建設計画の着工式が執り行われた。ローゼン米国大使のほか、サイモン副州知事やハルバート前連邦議会議長等が参列した。

世界レベルの眼科外科医がポンペイ州立病院に配属される

豪州政府と豪州外科学王立大学（The Royal Australian College of Surgeons）との協同下で豪州の John Kearney 眼科専門外科医が過去5年間にわたりポンペイ州にて眼科治療のボランティアを実施してきたが、ミクロネシア連邦の眼科外科医が必要であるとの認識に立ち、Padwick Gallen 医師が白内障手術等の医療訓練を経て、ポンペイ州立病院内に立ち上げた眼科クリニックで週あたり5件程度の白内障ほか眼科手術を実施する等で活躍している。Gallen 医師の外科医術について、Kearney 医師も「世界標準レベルのスキルに達している」と評価している。従来、ポンペイ州立病院では常駐の眼科専門外科医はおらず、外国人医師の訪問時にのみ対応可能であったが、Gallen 医師のクリニックは年中対応可能であり、離島を含むミクロネシアの患者にとって大きな支えとなっている。

Will Stinnet 選手がニュージーランドのプロバスケット・チームと契約

15 歳の時からマイクロ・ゲームのチューク州代表バスケット・チームで活躍してきた Will Stinnet 選手（30 歳）が、将来性を見込まれてニュージーランドの Napier の Hawks Bay チームと正式契約する運びとなった。

Stinnet 選手は、米国ノース・カロライナ州立大学にスポーツ奨学生（バスケット選手）として活躍し、18 歳でグアム・チーム代表選手入り、フィリピンの Adamson 大学をスポーツ奨学生として卒業した。

2015 年の South Pacific Games でグアム・チームのキャプテンとしての活躍がニュージーランドのスカウトの目にとまった。

Stinnet 選手は、過去 2 年半はグアムに在住し、グアムのチューク移民のバスケット・チームを支援し、グアムでの試合でチューク・チームの通訳や審判としてチューク州コミュニティに貢献してきた。

多くの地元バナナにはビタミン A が豊富

ミクロネシアのバナナは現在 16 種類が確認されているが、いずれも、ビタミン A として体内摂取される源のカロチンが豊富であるほか、ビタミン A 欠乏を原因とする疾病及び糖尿病、心臓病並びに特定の癌予防に効用があるとされている。

疫病学及び栄養学見地からのミクロネシア産バナナに関する本格的調査分析は 1998 年に開始され、2000 年～2002 年には 16 種類の地元バナナ（ポンペイ州及びコスラエ州）を対象としてハワイの癌研究センター、フィジーの南太平洋大学、スイスのバーゼルにある Roche Vitamins Ltd、米国ウィスコンシンの研究所等で綿密に分析されるに至っている。

バナナの黄色やオレンジ色気味の部分にはカロチンが豊富に含まれていることが知られている。

（了）